

北川かっぱの会

北川かっぱの会は北山公園一帯の緑の保全と北川の清流復活という夢を掲げ活動しています。

■団体の概要

活動エリアである北川は、昭和30年代中盤までは子供たちが魚とりをし、泳げるような場所でしたが、都市化や高度経済成長とともにドブ川化し、市民から背を向けられた存在になってしまいました。その後、下水道整備などに伴って、平成になる頃からは水質もやや改善されて、源流部の狭山公園内ではホタルが復活し、種類は少ないもののメダカ、オイカワ、モツゴなどの小魚も戻ってきました。また、中流域部にある八国山緑地、北山公園のあたりは、新宿からわずか30分の距離にありながら、田んぼも含めて里山風景が広がる貴重な場所になっています。北山公園では、今も魚とりやザリガニ釣りに遊ぶ子供たちの姿が見られます。しかし、かろうじて残された北山公園、八国山周辺の自然に加え、流域全体でかつてのように子供たちが生き生きと遊べる清流の北川にするにはさらなる取り組みが必要です。北川かっぱの会は、今の子供たちにもう一度かつての子供のような体験をさせてみたい、と思う者が集まり会を発足しました。発足当時は10名弱だった会員も、自然に対する興味や関心が高まるにつれ、現在では約260名（準会員も含む）までになっています。



北川クリーンアップ
※北川かっぱの会 WEB ページより

■北川クリーンアップ

春、秋の2回の川そうじを地域の人々と共に行政と協働で取り組んでいます。また、会員有志による川そうじを月1回定期的に行っています。

■北川わんぱく夏まつり

夏には北山わんぱく夏まつりを多くの市民とともに主催しています。

■北川復元プラン「未来の川へ」

1998年にそれまでの活動成果として、北川復元プラン「未来の川へ」を発行し、東村山市へ市民プランとして提案しました。市ではこの提案を真摯に受け止め、行政内部での検討・調整・予算措置を経て、市民と共同で北川の復元プランを具体化、2004年にコンクリート護岸をはがして自然護岸に復元する工事の完成を見るに至りました。2005年には、さらに下流側の自然護岸化の工事が行なわれ、この際には高さ80cmほどあった垂直の落差工が、世界で4例目となる「粗石付双斜曲面式全断面魚道」として再整備されました。

湧水調査結果(平成7年調査との比較)
※北川かっぱの会 WEB ページより

■環境学習

ここ数年は、小学校や地域の環境団体と連携しながら次代を担う子供たちの環境学習(魚、昆虫、鳥など)の支援を積極的に行っています。

■各種調査

定期的に魚類調査、水質調査、底生生物調査、湧水調査、川に投棄されたゴミ調査を行っています。また、魚道魚類遡上調査も別途実施しました。

	平成19年調査
たっちゃん池上	○
多摩湖堰堤下	?
西武遊園地駅脇	×
多摩湖緑地内	○
多摩湖集会所横民家内	○
多摩湖町4丁目北川河川内	?
二ツ池	○
新山手病院内	×

○；確認できた、×；確認できず、
?；不明(立ち入り不可等のため)